

第 62 回資金管理業務諮問委員会 議事録(確報)

1. 日時:平成 27 年 6 月 5 日(金)13 時 00 分～15 時 15 分
2. 場所:公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第 1・第 2 会議室
3. 出席者:永田委員長、大石委員、鬼沢委員、小島委員、酒井委員、山下委員
以上 6 名出席
その他 公益財団法人自動車リサイクル促進センター事務局(議案説明者を含む)、経済産業省・環境省担当官が出席
4. 議題:①平成 26 年度事業報告書(案)、平成 26 年度決算報告書(案)について
②平成 26 年度の再資源化預託金等の運用評価について
③平成 26 年度離島対策等支援事業の実施結果について
④平成 26 年度の外部業務監査結果について
⑤平成 28 年 4 月 1 日から適用する次期資金管理料金について
⑥再資源化預託金等特別会計及び資金管理料金特別会計の運用について
⑦資金管理業務規程の変更について
⑧コンタクトセンターのサービス提供時間の変更について
⑨入札結果について

5. 議事録

(1)議題①について

平成 26 年度事業報告書(案)及び平成 26 年度決算報告書(案)について、事務局から、資料 3-1 から資料 3-9 にて説明し、案のとおり承認された。

<意見>

【委員】

輸出返還台数実績が過去最高の150万台となったのはなぜか。

【事務局】

主に円安の影響によるもの。輸出先ではミャンマーが最も多く、中央アジアやアフリカへの輸出も増加している。

【委員】

当年度の輸出返還台数の予算120万台の策定根拠を教えてください。

【事務局】

平成26年度の輸出台数は前年度より増加傾向にあるが、一方でミャンマーにおける右ハンドル規制による減少要因も一部見られたため、平成25年度の実績と同程度と見込んで策定した。

【委員】

次回の予算説明の際には、輸出返還台数の実績推移などの基礎情報を示すこと。

【事務局】

了解した。

【委員】

次回の決算説明の際は、事業報告書の記載内容と資料3-3の別紙1の記載内容に関連性を持たせるようにすること。

【事務局】

了解した。

【委員】

公益財団の収支相償の適合についての判断基準を教えてください。

【事務局】

実質損益がゼロまたはマイナスになれば適合となる。

【委員】

収支相償以外に公益認定の条件はあるのか。

【事務局】

収支相償、遊休財産の保有制限、公益目的事業比率の3つの基準がある。

【委員】

資料3-6の別紙2の積立額については、理事会でも諮っているのか。

【事務局】

理事会でも承認済みである。

(2)議題②について

平成26年度再資源化預託金等の運用評価(案)について、事務局から資料4-1から資料4-2にて説明し、案のとおり承認された。

<意見>

【委員】

資料4-1の2ページ(3)の補足文章について、表現の適切性について専門家に確認すること。

【事務局】

了解した。

(3)議題③について

平成26年度離島対策等支援事業の実施結果について、事務局から資料5にて説明し、案のとおり報告し、了承された。

<意見>

【委員】

出えんをしていない50の離島自治体は、自動車の処理をどうしているのか。

【事務局】

島内に自動車がないことや、登録があっても使用が本土である自治体が11あり、残りは100台以下の保有台数で複数年に1度程度しか廃車の発生がなく、申請頻度の少ない自治体である。

【委員】

過去に取り纏めた離島対策支援事業に関する報告書を更新するとともに、離島で発生した使用済自動車等の荷姿別の流通経路が分かる資料を新たに追加し、次回報告すること。

【事務局】

了解した。

(4)議題④について

平成26年度の外部業務監査結果について、事務局から資料6-1から資料6-2にて説明し、案のとおり承認された。

<意見>

【委員】

次回から業務の内容を整理して、監査対象の項目を選定し、また、それを一定期間毎に見直すこと。

【事務局】

了解した。

(5)議題⑤について

平成28年4月1日から適用する次期資金管理料金について、事務局から資料7にて説明し、審議の結果、継続審議となった。

<意見>

【委員】

別紙の2.の過去に情報システムの改修に特預金を充当した際の考え方を今後も適用するか、整理する必要がある。

【委員】

別紙の3.にて、情報システム刷新はメンテナンス対応としているが、それについては今後、審議会でも議論されるかもしれない。それを踏まえ、どう対応していくか整理しておくこと。

【事務局】

了解した。

【委員】

預託時の委託手数料について、次回報告すること。

【事務局】

了解した。

(6) 議題⑥について

再資源化預託金等特別会計及び資金管理料金特別会計の運用について、事務局から資料8にて説明し、案のとおり承認された。

(7) 議題⑦について

資金管理業務規程の変更について、事務局から資料9にて説明し、案のとおり承認された。

(8) 議題⑧について

コンタクトセンターのサービス提供時間の変更について、事務局から資料10にて説明し、案のとおり承認された。

<意見>

【委員】

土曜日のFAX代行サービス関連業務を休止することで、どのような影響が考えられるか。

【事務局】

土曜日を休止することで、その土曜日が過ぎると遅延報告が発生する場合は遅延報告となるが、現在利用している11社は速やかに移動報告を行っている事業者であることから、影響はないと考えている。

【委員】

次期CCの入札について、詳細を次回報告すること。また、入札要件には自動音声対応等を盛り込むこと。

【事務局】

了解した。

【委員】

別紙の3の各項目の評価について、利用者の利便性への影響は少なからずあるはずなので、表記について見直すこと。

【事務局】

了解した。

(9) 議題⑨について

入札結果について、事務局から資料11にて報告し、了承された。

以上